

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月4日
株式会社オリエンタルランド

I. 決算概要

執行役員
高橋 渉

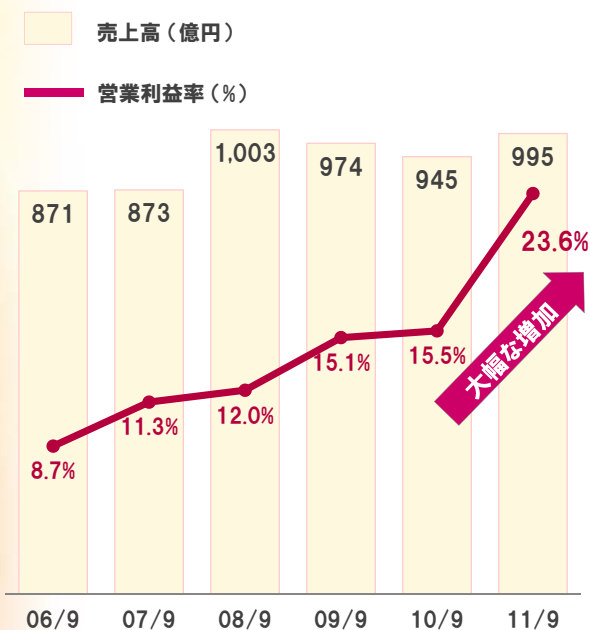
1. 上半期実績(前年同期比較)

上半期	前年同期 (億円)	実績 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	1,797	1,481	△ 315	△ 17.6%
テーマパーク事業	1,457	1,222	△ 234	△ 16.1%
ホテル事業	231	165	△ 65	△ 28.2%
その他の事業	108	92	△ 16	△ 15.1%
営業利益	277	204	△ 73	△ 26.4%
テーマパーク事業	235	182	△ 53	△ 22.7%
ホテル事業	47	29	△ 18	△ 38.4%
その他の事業	△ 6	△ 8	△ 1	-
経常利益	275	203	△ 71	△ 26.1%
純利益	160	86	△ 73	△ 46.0%

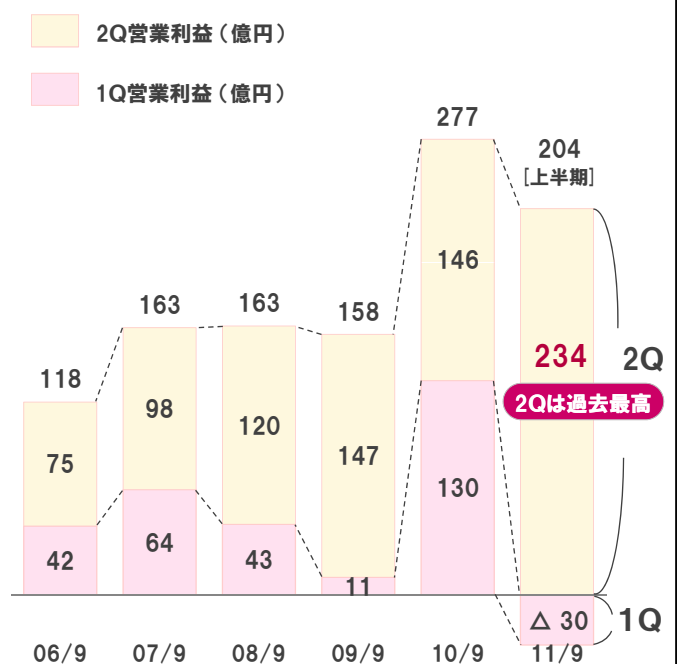
1Qに震災の影響を受けたことにより減益

1. 上半期実績(前年同期比較) - 業績推移

連結売上高・営業利益率の推移(2Qのみ)



四半期別連結営業利益の推移(上半期)



2Qの利益水準が大幅に向上

1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

テーマパーク事業①	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,457億円	1,222億円	△ 234億円	△ 16.1%
1Q	698億円	394億円	△ 304億円	△ 43.5%
2Q	758億円	828億円	70億円	9.3%
入園者数	1,295万人	1,074万人	△ 221万人	△ 17.1%
ゲスト1人当たり売上高	9,840円	9,904円	64円	0.7%
チケット収入	4,130円	4,120円	△ 10円	△ 0.2%
商品販売収入	3,505円	3,593円	88円	2.5%
飲食販売収入	2,206円	2,191円	△ 15円	△ 0.7%

入園者数の減

- 入園者数は減となったものの、2Q以降着実に回復
 - 1Q: 震災の影響による休園などにより大幅な減少
 - 2Q: 首都圏ゲストが好調、地方ゲストが回復し過去最高

ゲスト1人当たり売上高の増

- 1Qは前年同期を下回るも、2Q以降は前年同期を上回り、過去最高に
 - 東京ディズニーシー10周年関連商品の好調

2Qの売上高は過去最高に

5

1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

テーマパーク事業②	前年同期	実績	増減	増減率
営業利益	235億円	182億円	△ 53億円	△ 22.7%
1Q	120億円	△ 17億円	△ 137億円	-
2Q	114億円	199億円	84億円	73.6%

営業利益の減

- 売上高の減(1Q減、2Q増)
- 固定費の減 +91億円

固定費の減 内訳	利益への影響額		
	1Q	2Q	上半期
固定費の減(合計)	+ 63億円	+ 28億円	+ 91億円
(うち、特別損失への振替額)	(+ 31億円)	-	(+ 31億円)
人件費(労働時間・超過勤務手当など)の減	+ 28億円	+ 13億円	+ 41億円
固定経費(販売費・ショー製作費・固定資産税など)の減	+ 19億円	+ 17億円	+ 36億円
減価償却費の減	+ 16億円	△ 2億円	+ 14億円

引き続きコストコントロールを徹底

6

1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

ホテル事業	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	231億円	165億円	△ 65億円	△ 28.2%
営業利益	47億円	29億円	△ 18億円	△ 38.4%
1Q	13億円	△ 3億円	△ 17億円	-
2Q	34億円	32億円	△ 1億円	△ 3.2%

- ・売上高の減(8月以降、客室稼働率は前年レベルに)
- ・固定費(人件費・固定経費・減価償却費)の減 +20億円

2Qの営業利益は前年同期レベルに回復

その他の事業	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	108億円	92億円	△ 16億円	△ 15.1%
営業利益	△ 6億円	△ 8億円	△ 1億円	-
1Q	△ 4億円	△ 9億円	△ 5億円	-
2Q	△ 2億円	1億円	4億円	-

2Qよりシアトリカル事業などが改善

7

1. 上半期実績(前年同期比較) - 主な増減要因

I. 決算概要

純利益	前年同期	実績	増減	増減率
営業利益	277億円	204億円	△ 73億円	△ 26.4%
経常利益	275億円	203億円	△ 71億円	△ 26.1%
特別損失	18億円	57億円	38億円	206.1%
純利益	160億円	86億円	△ 73億円	△ 46.0%

特別損失

- ・災害による特別損失(休園期間の固定費) 36億円
- ・ZED公演終了(2011年12月31日)に伴う減損損失 21億円

まとめ

- ・1Qは、震災の影響により、4月に東京ディズニーリゾート各施設の営業を休止したことなどから減収減益となった
- ・しかしながら、2Qは、テーマパーク入園者数が過去最高になるなど売上が回復したことに加え、引き続きコストコントロールを徹底したことなどにより過去最高の営業利益となった

8

II. 今後の見通し

代表取締役社長(兼)COO
上西 京一郎



1. 下半期業績予想(前年同期比較)

II. 今後の見通し

下半期	前年同期 (億円)	下半期 業績予想 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	1,764	1,950	185	10.5%
テーマパーク事業	1,447	1,626	178	12.4%
ホテル事業	209	230	21	10.5%
その他の事業	108	92	△ 15	△ 14.1%
営業利益	259	353	94	36.4%
テーマパーク事業	226	303	76	33.9%
ホテル事業	36	55	18	50.7%
その他の事業	△ 5	△ 5	△ 0	-
経常利益	253	346	93	36.7%
純利益	68	207	138	203.2%

大幅な増収増益に

1. 下半期業績予想(前年同期比較) - 主な増減要因

II. 今後の見通し

テーマパーク事業①	前年同期	下半期業績予想	増減	増減率
売上高	1,447億円	1,626億円	178億円	12.4%
入園者数	1,241万人	1,376万人	135万人	10.9%
ゲスト1人当たり売上高	10,212円	10,431円	219円	2.1%
チケット収入	4,308円	4,494円	186円	4.3%
商品販売収入	3,758円	3,801円	43円	1.1%
飲食販売収入	2,145円	2,136円	△ 9円	△ 0.4%

入園者数の増

- ・前期の休園期間分の増
- ・下半期の入園者数は過去3番目を見込む

ゲスト1人当たり売上高の増

- ・チケット収入が増加することなどにより、下半期として過去最高を見込む
 - － チケット価格改定による効果
 - － 東京ディズニーシー10周年関連商品による増

入園者数及びゲスト1人当たり売上高の増加により、増収を見込む

11

1. 下半期業績予想(前年同期比較) - 主な増減要因

II. 今後の見通し

テーマパーク事業②	前年同期	下半期業績予想	増減	増減率
営業利益	226億円	303億円	76億円	33.9%

営業利益の増

- ・売上高の増
- ・固定費の増 約△30億円

固定費の増 内訳

固定費の増(合計)

① 前期の休園期間分の増

人件費の増

固定経費・諸経費の増

減価償却費の増

② コストコントロールなどによる減

人件費(業務効率化に伴う超過勤務手当など)の減

固定経費(施設更新関連費・固定資産税など)の減

利益への影響額

約△30億円

約△60億円

約△30億円

約△10億円

約△20億円

約+30億円

約+10億円

約+20億円

下半期においてもコストを抑制

12

1. 下半期業績予想(前年同期比較) - 主な増減要因

II. 今後の見通し

ホテル事業	前年同期	下半期業績予想	増減	増減率
売上高	209億円	230億円	21億円	10.5%
営業利益	36億円	55億円	18億円	50.7%

- ・売上高の増
 - 前期の営業休止期間分の増
- ・固定費は前年同期レベル
 - 前期の営業休止期間分の増
 - コストコントロールなどによる減

下半期は過去最高益に

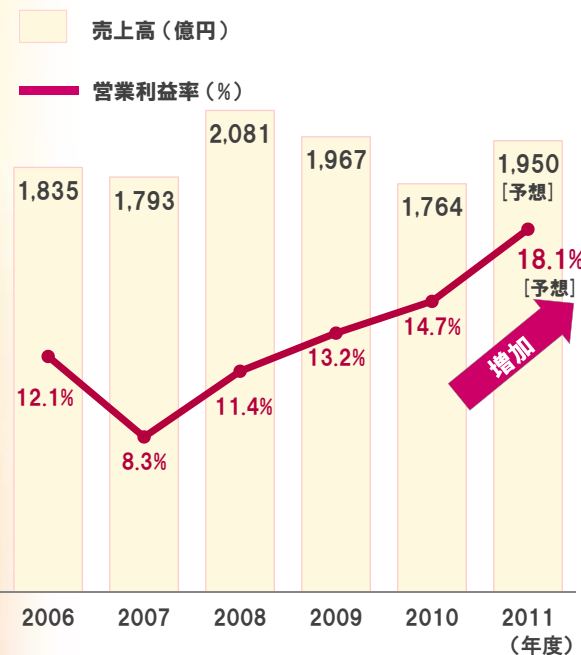
その他の事業	前年同期	下半期業績予想	増減	増減率
売上高	108億円	92億円	△ 15億円	△ 14.1%
営業利益	△ 5億円	△ 5億円	△ 0億円	-

前年同期レベルを見込む

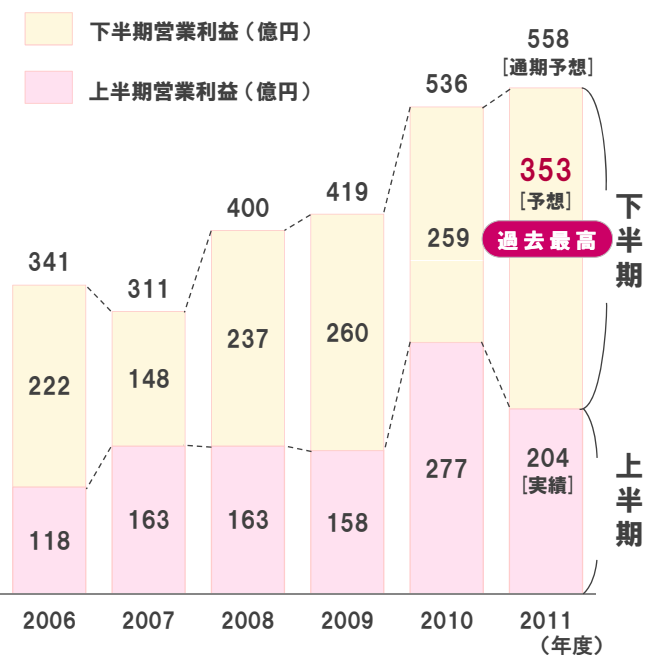
1. 下半期業績予想(前年同期比較) - 業績推移

II. 今後の見通し

連結売上高・営業利益率の推移(下半期)



半期別連結営業利益の推移

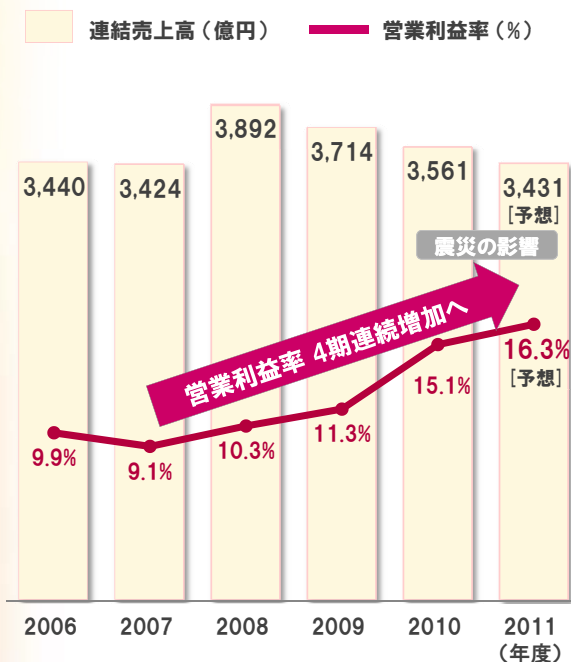


下半期の営業利益は過去最高を見込む

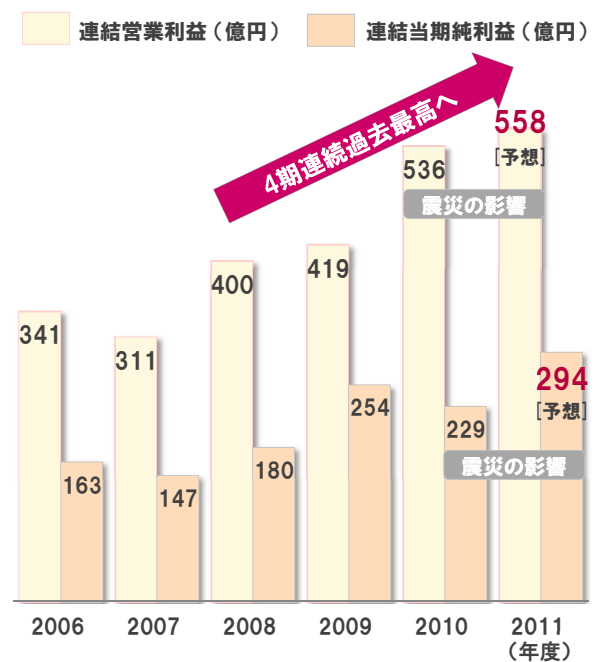
通期	前期実績 (億円)	通期 業績予想 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	3,561	3,431	△ 130	△ 3.7%
テーマパーク事業	2,904	2,849	△ 55	△ 1.9%
ホテル事業	440	396	△ 43	△ 9.8%
その他の事業	216	185	△ 31	△ 14.6%
営業利益	536	558	21	4.0%
テーマパーク事業	462	485	23	5.1%
ホテル事業	84	84	0	0.6%
その他の事業	△ 12	△ 14	△ 1	-
経常利益	528	550	21	4.0%
当期純利益	229	294	65	28.4%
テーマパーク入園者数	2,537万人	2,450万人	△ 87万人	△ 3.4%
ゲスト1人当たり売上高	10,022円	10,200円	178円	1.8%
チケット収入	4,217円	4,330円	113円	2.7%
商品販売収入	3,629円	3,710円	81円	2.2%
飲食販売収入	2,176円	2,160円	△ 16円	△ 0.7%

通期においても増益になる見込み

連結売上高・営業利益率の推移

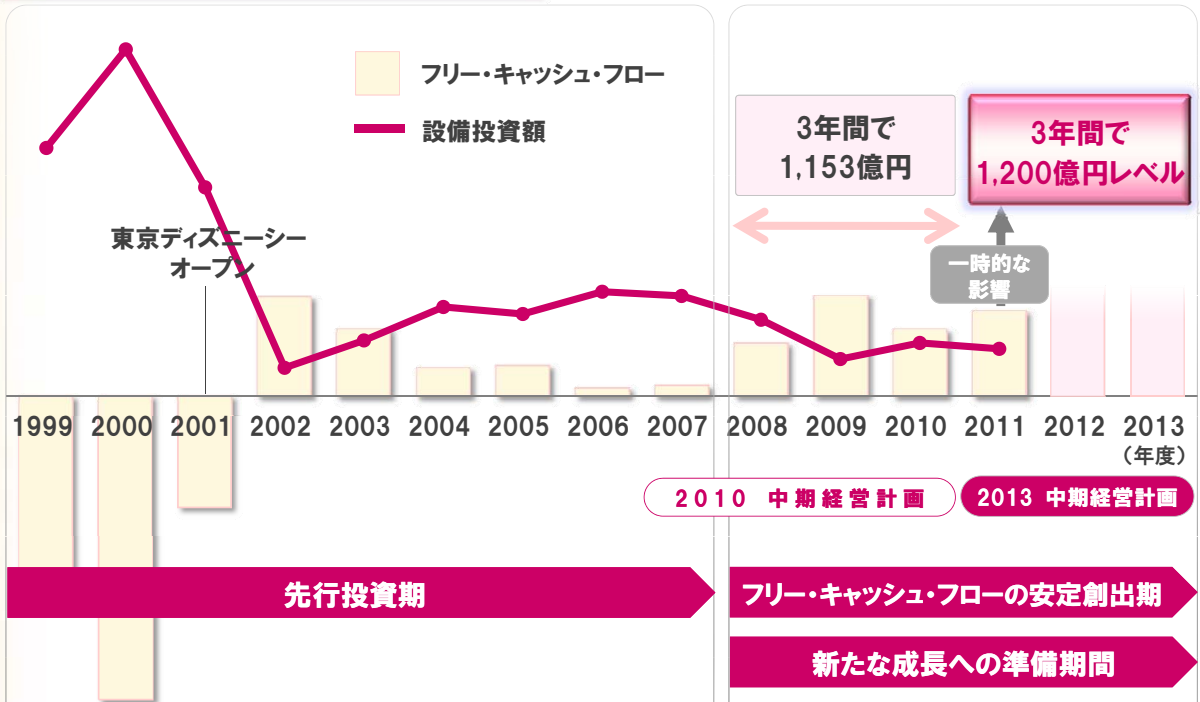


連結営業利益・当期純利益の推移



利益率が増加し、営業利益は4期連続で過去最高へ

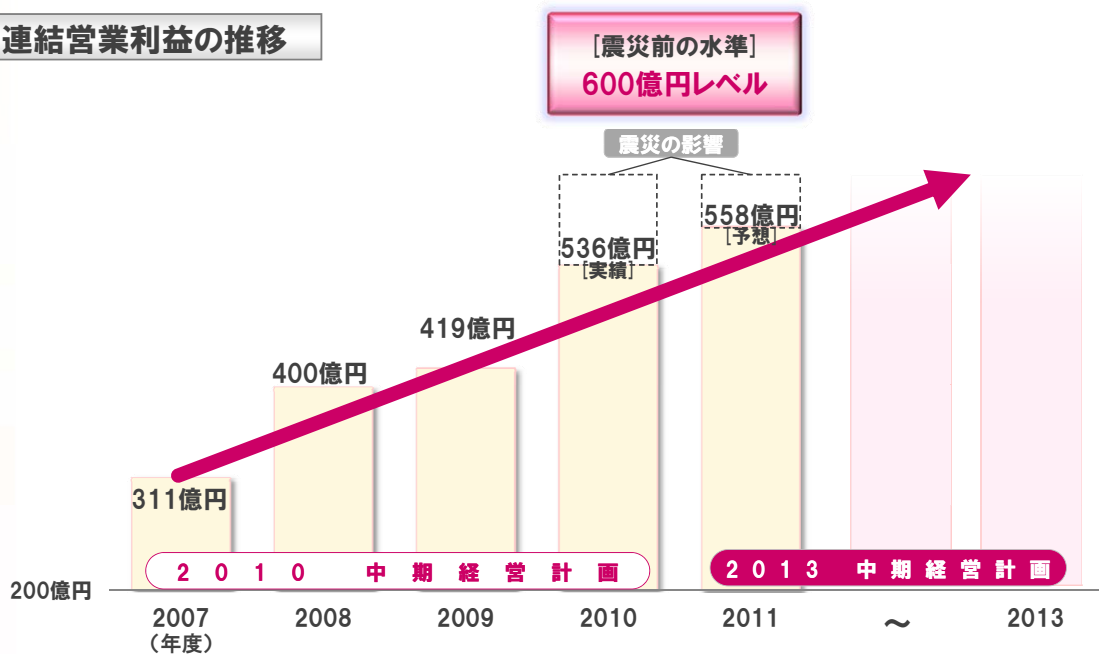
2013中期経営計画 目標値



震災があったものの、計画に変更なし

中期的な業績イメージ

連結営業利益の推移

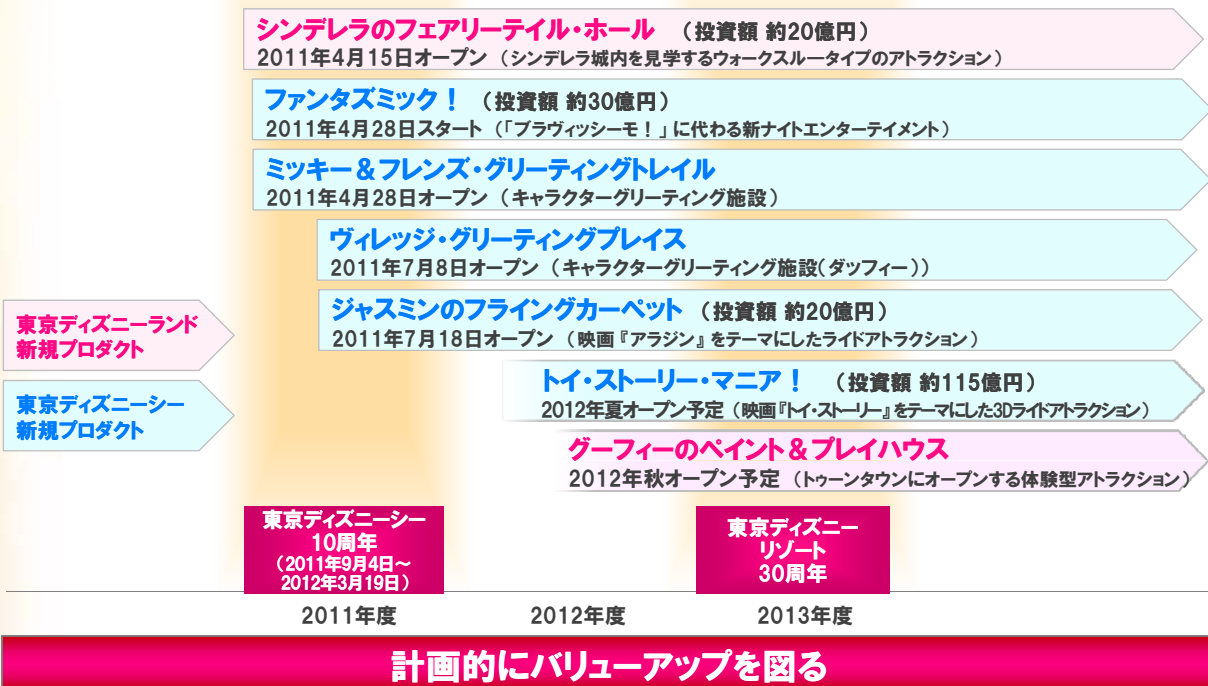


2013中計期間中に震災前の水準に戻す

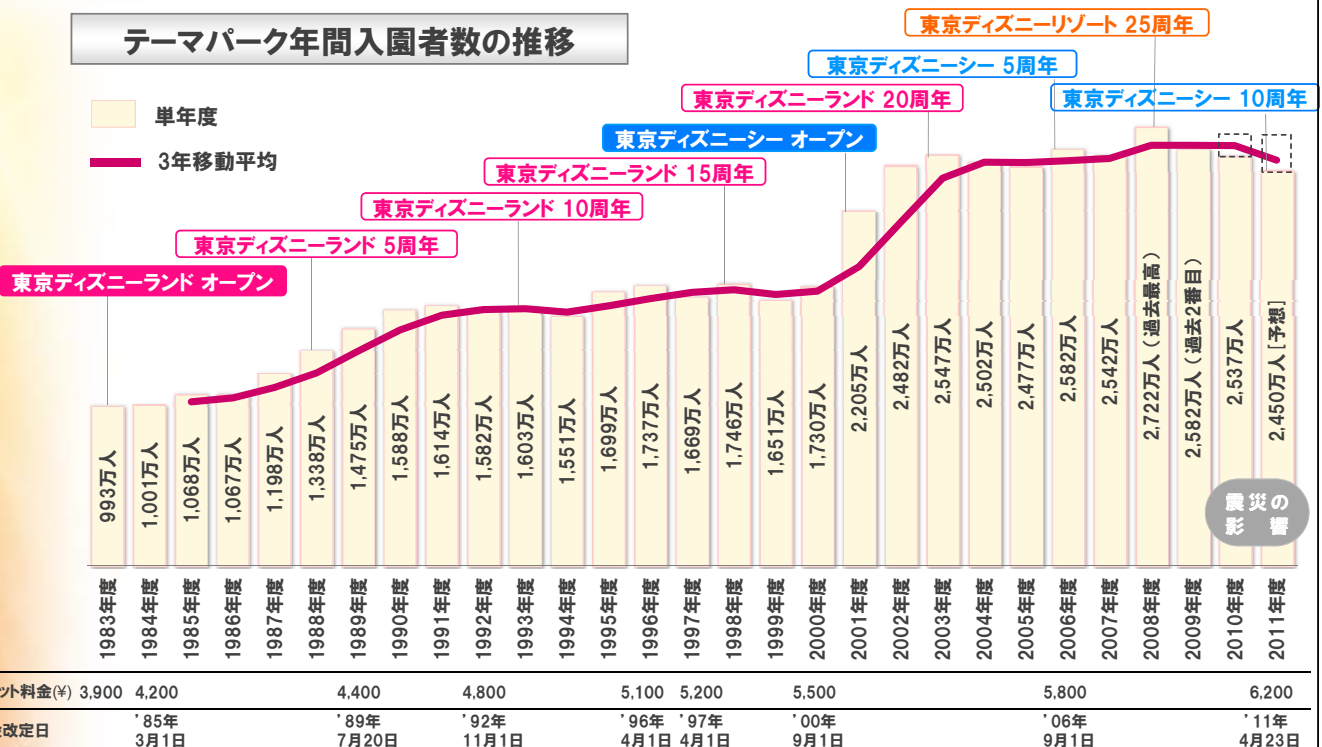
東京ディズニーリゾートのバリュー向上

主な東京ディズニーリゾートバリューアップ施策*

* 2011年11月4日時点で公表している計画のみを記載



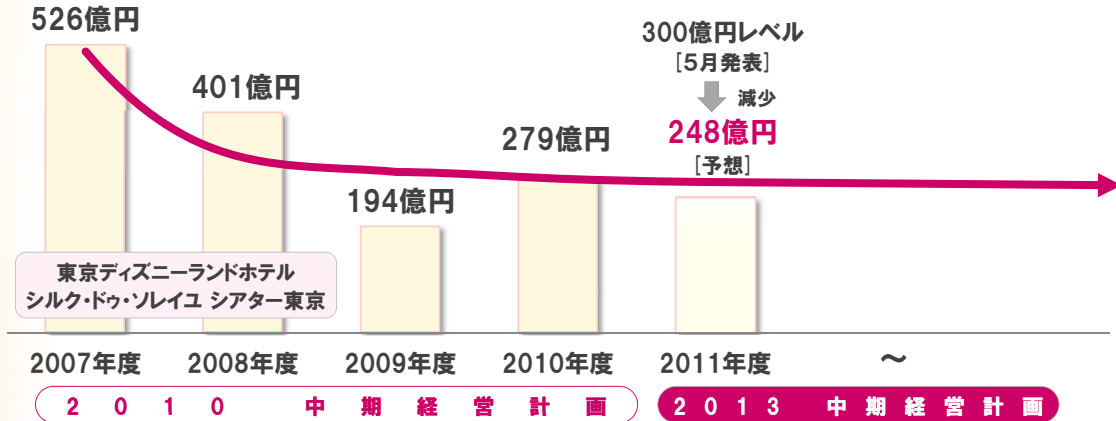
テーマパーク年間入園者数の推移



単年度の増減はあるものの、複数年度でのペースアップを目指す

コスト・投資の効率化

設備投資額(連結)

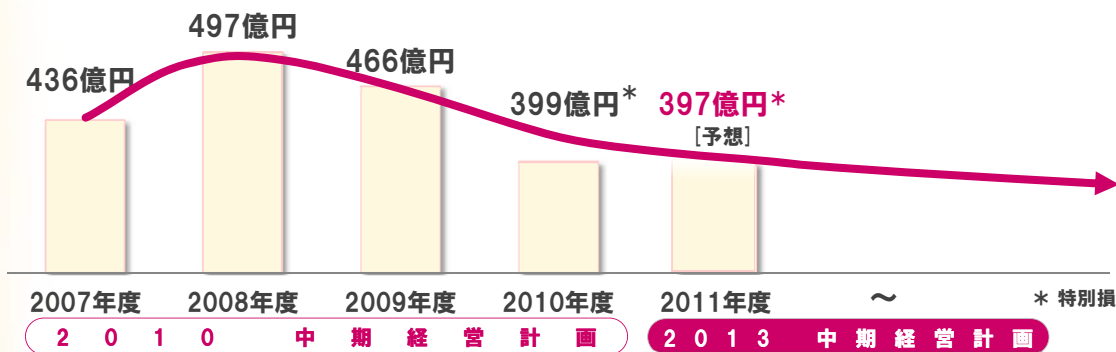


大規模な先行投資の一段落

方針
テーマパーク事業への投資
10年間で2,000億円レベル

更なる投資効率の向上を図る

減価償却費(連結)



減価償却費は減少局面へ

投資効率の向上に伴い
中長期的に減少する見込み

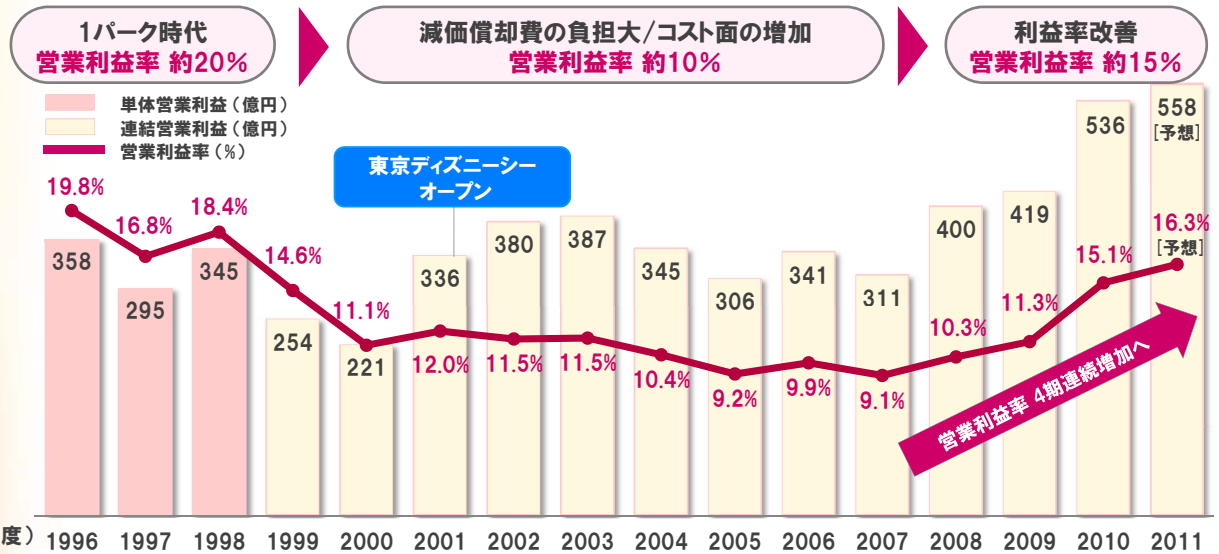
コスト

売上高に応じたコストのコントロール
- パーク運営状況に応じ固定費を抑制

販管費などゲスト体験価値に影響を及ぼさないコストの抑制

更なるコスト効率の向上を図る

営業利益・営業利益率の推移



減価償却費 (億円)	119	112	116	124	184	379	479	459	445	433	429	436	497	466	399	397 [予想]
設備投資額 (億円)	384	441	598	1,304	1,822	1,097	148	292	468	431	548	526	401	194	279	248 [予想]

※ 1998年度以前は単体決算の実績

営業利益率が引き続き改善

1. 新たな成長への投資 (2013中計期間中に方針を策定)
2. 株主還元
3. 有利子負債の削減 (新たな成長へ向けた投資余力の確保)

現時点での返済計画*

* 新規調達、および、リファイナンスは含まない

返済計画	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	(参考)	2011年度 上半期末
社債	—	—	—	100億円	有利子負債残高	1,947億円
長期借入金など	416億円	464億円	164億円	14億円	D/Eレシオ	0.54倍

長期視点でフリー・キャッシュ・フローを配分

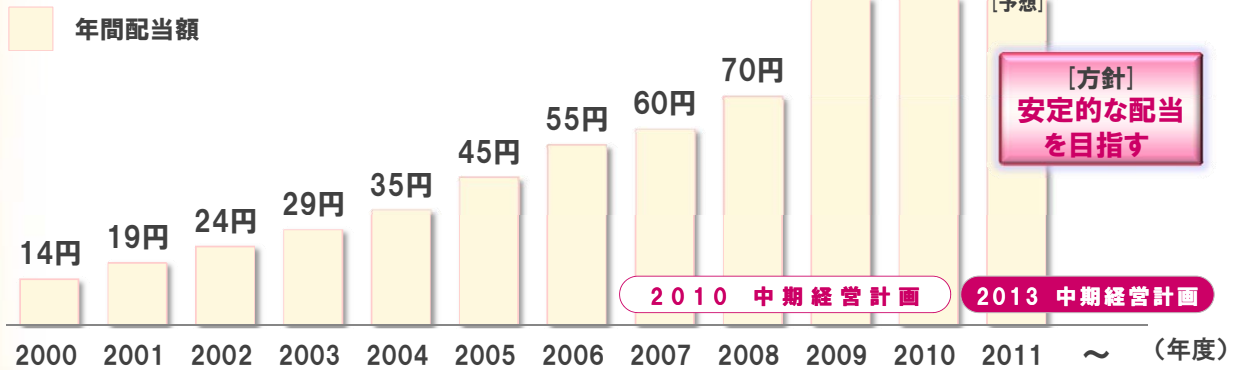


5. 株主還元

II. 今後の見通し

配当

1株当たり年間配当額の推移



[方針]
安定的な配当
を目指す

ROEの向上

8%以上となることを目指す

株主還元を着実に実施



Oriental Land Co.,Ltd.

ハピネスを届けたい。



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。

本資料の転載はご遠慮ください。